



## 特別部会「緊急提言」も「期待したものでない」 長時間労働 STOP、給特法見直し全国署名を

中教審の特別部会は8月28日に教員の働き方の改善に向けて国などが直ちにに取り組むべき施策をまとめた「緊急提言」を出しました。

従来文科省が求めてきた「3分類」に基づく業務の見直し・負担軽減、多すぎる授業時数設定の年度途中でも見直し、業務支援員の全校配置、小学校高学年の「教科担任制」の前倒しなどがあげられています。

(しかし給特法の抜本改善を求める「給特法のこれからを考える有志の会」の呼びかけ人や賛同人らは記者会見を開き、「期待したものではなかった」「4年たっても3分類による業務見直しが進まなかったのは行政の怠慢」と厳しく指摘しました。そのうえで、法律による労働時間抑制の仕組みが必要として、給特法を改正して残業代を支給するように求めています。

### 「長時間労働に歯止めを、給特法の見直しを求める全国署名」を広げよう

すでに7月初めに、内田良さん、中島哲彦さんなどが呼びかけ人となる「長時間労働に歯止めをかけ、給特法の見直しを求める全国署名」に全教も協力して取り組むことを呼びかけています。

全教では10月7日に長時間労働、給特法見直しについての全国集会を予定しています。多数の教職員の声を国に届けて、長時間労働の見直しを実現させましょう。

## 大阪で、物価上昇に見合う賃上げを 「一言はがき」の取り組み協力を

国の人事院は国家公務員の給与について

月額3,869円、初任者は11,000円引き上げ、ボーナスの年0.1月分引き上げを勧告しました。

大阪ではこれを受けて、10月に人事委員会の勧告が出されて、府労組連と府当局との交渉によって最終的にきめられていきます。

しかし、大阪は、この間報道される大阪万博建設費の先の見えない高騰、カジノ IR にかかわる府・市の負担増加などの懸念が後を絶ち



### 過去10年の府勧告実施 引上げは「実施なし」「値切り」 引き下げは「即実施」

	給与	
	府勧告	府実施
2013年	9,880円↑	勧告通り
2014年	6,450円↑	▲一部実施せず
2015年	5,995円↑	実施せず
2016年	1,075円↓	前倒しで引き下げ
2017年	230円↑	勧告通り
2018年	1,914円↓	勧告通り引き下げ
2019年	6,708円↑	▲初任のみ
2020年	なし	
2021年	なし	
2022年	1,143円↑	▲若年のみ

ません。

維新の会の吉村府知事は、人事委員会の勧告を無視したり、値切ったりして不当に賃金、労働条件を低くしてきたために深刻な、人員不足、欠員状況を引き起こしてきています。

大阪は、教員不足が深刻で、この間の急激な物価高で家計負担が重くのしかかってきています。子育て家庭、介護家庭では先行きのお金の心配は尽きません。

安心して教育活動に専念し、ゆとりをもってはたれけるように人員の確保・拡充を求めていくために、現場教職員の率直な実態や声を府当局に届けましょう。

## 要録所見 市教委の指摘で 敬体を常態に書き直しも 文科省は「重要でない」、「独自基準」で現場に負担!?

指導要録の点検に来た市教委担当者の指摘で、全員分の所見を敬体から常態に書き直しを余儀なくされる、このような対応への疑問や意見が現場からも寄せられていました。

しかし、2018年の文科省の「統合型校務支援システムの導入のための手引き」の中で、「敬体と常体のいずれかで記載されているかは重要ではありません」「敬体で記載することは業務効率につながります」と指摘しています。

指導要録所見の書き直しなどは、今年はないとされています。しかし、5年前にも文科省が指摘していたことについて、枚方で職場から声が上がっていたこととなります。

現場の教職員の労力や負担にもかかわらず、市教委が「独自に設けた基準」で、現場で対応が余儀なくされてきたことが浮き彫りになります。

従来の学校業務への対応の在り方そのものが問われる必要があります。

### 文科省も取り上げる 評価、通知表での柔軟な対応

文科省は先にあげた「手引き」の中で、通知表、評価についても柔軟な対応の例をしめして、システム導入に当たって効果的な活用を提唱しています。

現行の枚方の務支援システムでも、通知表記載項目の変更などにも対応できる契約となっています。文科省の示す事例を参考にしながら、それぞれ効果的、効率的な活用ができるようにすべきです。

### (通知表は)様式や出力するデータ項目を必ずしも統一する必要はない帳票

通知表等..は、様式統一を行ってしまうと...、結果的に児童生徒や保護者に学習の達成状況、指導内容・課題等についての情報を、十分に提供できなくなる可能性があります。そのため、通知表についても、本手引きでは、帳票の様式や出力するデータ項目を必ずしも統一する必要はない(標準化しない)帳票に分類しています。  
「統合型校務支援システムの導入のための手引き」P55

### 通知表のパターン化の事例 (小1・2で2段階評価も可能に)

- 1・2年学習の記録は、2段階評価と3段階評価が選択可能
- 通信欄に「家庭から学校へ」の欄があるか・ないかが選択可能
- 行動の記録の評価について、2段階評価と3段階評価が選択可能となっています

(東京都墨田区〈小学校〉の例)

「統合型校務支援システムの導入のための手引き」P57より

枚方市長選挙結果を受けて

## ながた吉康さんの決意が市民を立ち上がらせ、 市民運動の重要な変化を切り開いた、運動の成果に自信を持ち、 枚方の教育のあり方を変えていきましょう

2023年9月5日 枚方教職員組合執行委員会

枚方市長選挙の結果は、残念ながら、ながたさんは、当選には至りませんでした。

皆さん、多忙な中でも力を尽くしていただき、ありがとうございました。

今回の、市長選挙は主要な政党、団体が維新市長との対決を回避するという、異例の状況の中で行われた選挙でした。この中で、大型開発や福祉・教育切り捨ての維新市政に白紙委任をしてよいのかという思いから、困難な状況の中で、元小学校教員、枚方教組の大先輩であるながた吉康さんが立候補を1か月前に決意されてたたかわれた選挙でした。そしてこのながた吉康さんの決意と奮闘は、はじめの予想を大きく越えた変化をもたらしました。

政党の組み合わせではけっして有利ではない状況の中で、従来の枠組みを大きく超えて、市民の間に支持を広げて、かつてない動きをつくり出したことで、私たちの運動に大きな確信を広げてもらえたといえます。

あらためてながた吉康さんの決意とこの間の奮闘に敬意と感謝を表したいと思います。

維新政治でたくさんの苦しめられていた人々が、多忙や困難な中でもつながりあい、声をあげ始めたことは大きな成果です。

「大規模開発見直して、福祉教育の削減ではなく充実を」

掲げた要求の力が、人々を突き動かして、変化を作り出していく、本来の市民運動、市政の在り方、市民の市政参加の在り方に、改めて目を向けさせてもらえたと思います。

選挙結果判明後にも、「今まで市政に関心がなかったが、枚方だけ少人数学級が実施されていないことを初めて知って、回りのお母さんたちにもおかしいのではと広めた。大切なことに目を向けることができたことを感謝したい。」などと何人もの市民から声が寄せられています。

「選挙やパフォーマンスで支持を集めればあとは、市民の声を無視した施策を強行」、このような維新市政から、枚方を市民の手に取り戻すための道筋を示してくれました。

今回の市長選挙の取り組みでは、組合員、教職員も関心を高め、自ら市政に関心を持ち、目の前の困難な現実を変えるために、主体的に自分のできることに力を尽くそうとする、貴重な動きが大きく広がりました。多忙で困難な職場の現実にはただ耐えていくのではなく、その問題の根源に目を向け、変えていくために何ができるかを考えて、一人一人の組合員・教職員が力を尽くしました。

猛暑も影響して、今回の投票率は31.17%と最低の投票率となっています。投票率の低さは維新政治を拡張させ、市民不在の市政に拍車をかけていきます。

選挙は終わっても、市民の生活も枚方で仕事も続きます。

この選挙で明らかになった、重要なのは市民が関心をもち、発言し、関わり続けようとしていくことです。

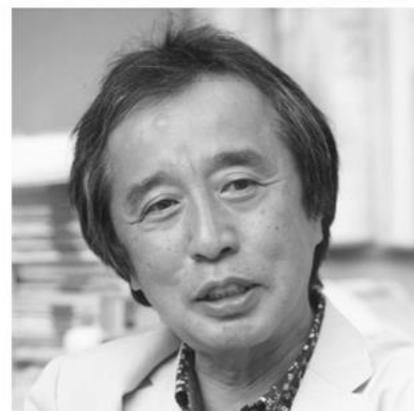
引き続き、枚方の教育、働き方を変えていきましょう。

以上

# 教育のつどい大阪

三島ブロック

2023



記念講演

## 「新しい戦前」の中にいる 子どもたちへ

講師 **金平茂紀**さん

ジャーナリスト・沖縄国際大学非常勤講師

1977年、TBS入社。以降、同局でモスクワ支局長、ワシントン支局長、「筑紫哲也NEWS23」編集長、報道局長などを歴任。2010年より「報道特集」キャスター（22年9月でレギュラー退任）。著書に「沖縄ワジワジ通信」「筑紫哲也NEWS23とその時代」など多数。翻訳書に「じじは じじつ ほんとうのことだよ」。

2023年

9月23日 土曜

開会 13:30(予定) / 開場 13:00  
茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)  
センターホール



アクセス 茨木市駅前四丁目6番16号

JR京都線「茨木」駅から東へ徒歩10分、阪急京都線「茨木市」駅から西へ徒歩12分

歓迎行事 (予定)

## 教育のつどい大阪2023 現地企画

日時：2023年 9月23日(土) 9:30開場 10:00開会  
場所：茨木クリエイトセンター各部屋

分散会1  
[「文科省通知」と特別支援教育のこれから]  
クリエイト302  
昨年の「文科省通知」っておかしいですか

分散会2  
[子どもたちの「生きづらさ」を考える]  
クリエイト303  
何が子どもたちを追い詰めているのでしょうか

分散会3  
[教育実践を楽しもう]  
クリエイト304  
みなさんは日々の教育実践を楽しまれていますか

分散会4  
[高校教育について語ろう]  
クリエイト203  
維新府政で大阪の高校はどうなるのでしょうか

教育のつどい大阪2023実行委員会 大阪市天王寺区東高津町7-11たかつガーデン706大阪教職員組合内  
TEL: 06-6768-2330 FAX: 06-6768-2239 E-mail: daikyoso@daikyoso.jp